



茨城北西看護専門学校 後援会ニュース ハルデンだより No.5

発行日 平成27年11月16日



少し遅くなりましたが秋号です。今年のハルデン祭は10月に開催し、当日は雨模様ではありましたが過去最高の来場者数となりました。保護者の方々にも多数お越しいただきましたことに御礼を申し上げます。来年も是非ともお越しくださいませようお願い申し上げます。

このニュースが皆様のお手元に届く頃には3年生は実習が終了し、国家試験の勉強に勤しんでいる頃だと思います。国家試験合格のためには、ご家族のサポートが必要不可欠です。3年生のご家族はもちろん、1, 2年生についても同様です。これまでどおり絶え間のないサポートをお願い申し上げます。

1学年担任より「基礎実習を終えて」

9月には、真新しい白衣姿は初々しく期待と緊張感とに胸ふくらませ、はじめての実習となる基礎看護学実習Ⅰを終えています。授業や実習室での演習で学んできたこととは言え、実際の病棟では戸惑う事も多くあり、終了時には患者様からの「ありがとう」の言葉に感動し、頑張り切ったことでの達成感を得ることができたように思います。看護師になりたいという思いは実習を終え、さらに明確にイメージできるようになってきたのではないのでしょうか。



2学年担任より「学年報告」

4月に新入生が入学し先輩となって、様々な活動の中心的存在となりながら学校生活を送っています。8/24、解剖見学実習に行きました。学生は緊張気味でしたが、いざ実習が始まると参考書を片手に、医科大の担当の先生に質問し、学びを深めてきました。お別れ式では、献体をされた方々に感謝し千羽鶴を供えました。

*いよいよ11月下旬から、1年間の長い実習が開始となり、実習に向けた事前学習を毎日夜遅くまで勉強しています。



3学年担任より「最終実習となりました」

3年生はいよいよ最終臨地実習「看護の統合と実践実習」となりました。看護の統合と実践実習に向けて、これまで学んだ履修や領域別実習で培った看護実践能力を強化・統合し、チーム医療の一員としての看護師の実務に近い実習を行います。

この実習で、専門職業人としての自覚と責任を培う実習になるという意識が今後の自己の看護観を深めることになると考えております。

また、チームで看護を実践する能力を身につけ、夜間(就寝前)における看護の実際を経験する事で、看護師資格取得後、対象者に安全・安楽な援助を提供出来る看護を目指しているのが現在の3年生の姿です。「看護の統合と実践実習」が終了すると2月の看護師国家試験に向けた追い込みに入ります。今年も100%を目指し3年生は必死になって取り組んでいます。

